

市議会12月定例会



市議会令和7年12月定例会が、12月5日から12月25日までの21日間の日程で開催されました。開会日に、当面する市政の重要課題について、岩佐市長が所信を表明しました。抜粋して要旨部分のみを掲載します。

全文は、市ホームページで公開しています。また、後日作成する市議会会議録は、市立図書館等で閲覧することができます。

公約の進捗状況

私は2年前の市長就任以来、「市政はただ一点、市民の皆さまの幸せのためにある」ことを基本理念として常に念頭に置きながら、市民の皆さまの声を幅広く聞きながら、「市民の幸せをカタチにする市政」の実現をめざして全力を傾注してまいりました。

そこで、私の公約に関する進捗状況と今後の取組について、新総合計画に掲げた6本柱に沿ってご報告申し上げたいと存じます。

「災害に強く、安全・安心な阿南」の創生

積極果敢に中央要望活動を展開した結果として、道路関係では、令和6年度国補正分として、前年度補正分を9億6千万円上回る33億円を獲得し、率にして41%もの伸びとなつております。また、令和7年度当初予算においても156億円が確保されたところであり、なかでも桑野道路においては、令和6年度当初予算に比べ、17%も伸びております。令和7年6月に貫通した下大野ト

阿波公方に関連した事業について

本市の貴重な文化遺産である阿波公館について、令和8年度から、観覧料の無料化と休館日の見直しを実施いたしました。

1点目として、阿波公方・民俗資料館について、昭和61年から発足し、現在まで継続して活動を展開しております。開催地については、東日本と西日本で毎年交替しながら決めており、来年度は西日本で開催される年となつておりましたところ、去る10月21日に栃木県さくら市で開催された「全国足利ゆかりの会」において、本市での開催が正式に決定されました。

係団体並びに社寺等が連携し、足利氏の顕彰とゆかりの地の発展を目的として、昭和61年から発足し、現在まで継続して活動を展開しております。

「図書のまち阿南」構想

阿南市立図書館協議会をはじめ、読書振興協議会やお話しボランティアの皆さまに丁寧に説明し、様々なご意見を頂いたところでございます。

また、那賀川図書館、羽ノ浦情報文化センターにおいて、市民説明会を実施し、市民の皆さまからもご意見やご要望を頂いております。

同時に、10月から11月末までの2か

ヶ月、長生・明谷トンネル、阿南インターチェンジのオンラインブリッジなどの大型構造物や改良工事など、区間全体で工事が進められています。

「地域産業が伸びゆく阿南」の創生

エコノミックガーデニングの理念を取り入れた産学官連携による中小企業支援、蓄電池関連企業が立地する優位性を生かした、本市における「徳島バツテリーバレイ構想」の推進、先端技術を用いた次世代を担う新産業の創生及び企業立地を促進し、雇用の確保につなげる「阿南市新産業創生奨励条例」の制定、徳島南部自動車道「阿南IC」の開通を見据えた、内陸型物流工業団地の開発による産業立地プロジェクトなどを推進しているところであります。

「こどもまんなか笑顔あふれる阿南」の創生

市長就任早々の令和6年2月に「阿南市立学校グラウンド照明設備LED化計画」を策定し、令和6年度に今津小学校と宝田小学校の2校を整備いたしました。今年度は長生小学校を整備

治療による外型変化を補うための医療用ウイッグ等の購入費用を助成する「がん患者医療用補正具助成事業」のほか、「帯状疱疹予防接種事業」に取り組んでおり、障がいのある方への支援として、徳島県内の自治体では初めてとなる、いわゆる「手話言語条例」を制定したほか、障がい者日常生活用具給付等事業のサービスの充実に加え、今年度から新たに「基幹相談支援センター機能強化事業」を推進することで、障がいのある方が自分らしく安心して暮らすことができるよう取り組んでいます。

「歴史・文化とスポーツでにぎわう阿南」の創生

歴史を活用した観光に関しましては、徳島県との良好な関係性により、本市

したほか、現在、羽ノ浦小学校において工事を進めており、来年度は、岩脇小学校と平島小学校の2校も整備する予定であります。

「健康でひとに優しい阿南」の創生

今年度からの新規事業として、がん治療による外型変化を補うための医療用ウイッグ等の購入費用を助成する「がん患者医療用補正具助成事業」のほか、「帯状疱疹予防接種事業」に取り組んでおり、障がいのある方への支援として、徳島県内の自治体では初めてとなる、いわゆる「手話言語条例」を制定したほか、障がい者日常生活用具給付等事業のサービスの充実に加え、今年度から新たに「基幹相談支援センター機能強化事業」を推進することで、障がいのある方が自分らしく安心して暮らすことができるよう取り組んでいます。

以上、公約の進捗状況等につきまして、概要を述べさせていただきました。阿南市の未来への投資として、この2年間でまた種が大きく花開くよう、本市の持つ強みを最大限生かしながら、市民の幸せを一つ一つカタチにしてまいります。

「地域の個性ときずなが輝く阿南」の創生

長年の懸案であります那賀川町複合施設でございますが、現在、基本設計及び実施設計を進めており、本年度から2か年をかけて全体設計を完成させ、令和9年度に着手、令和11年度中の供用開始をめざしてまいります。

※紙面の都合上、一部のみを掲載しました。全項目の進捗状況は、市ホームページや市議会会議録をご覧ください。

富岡地区認定「こども園の整備」について

本市では、「こどもを安心して産み育てられるまち」の実現を最重要施策の一つと位置付けております。

阿南地区における認定こども園の整備・運営に向けては、教育・保育に関する専門的見地や本市が尊重する人権の視点から審査していくだける委員を含めた関係職員で構成する「阿南市富岡地区認定こども園整備・運営事業者検討委員会」を設置し、去る9月29日に第1回会議を開催いたしました。委員会では、募集要項及び審査基準の策定に向けた具体的な協議を行い、その結果を踏まえて10月6日に募集要項を本市ホームページに公表いたしました。

その後、10月27日から11月14日までの応募受付期間を経て、現在は一次審査及び二次審査のプレゼンテーションが順調に進んでおり、令和7年12月下旬には富岡地区における認定こども園運営事業者を決定する予定でございます。

今後も、地域の皆さまのご理解とご協力をいただきながら、富岡地区認定こども園の整備に向けて着実に推進してまいります。